

2016年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	経営ビジネス						
科目名	日本語の技法						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	後期		
必修・選択の別	必修						
担当者	柿崎隆宏						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の特性を正しく理解し、レポート作成にふさわしい表現を使用できる。</li> <li>・日本語の文法を理解し、大学生にふさわしい表現を正しく使用できる。</li> <li>・論理的な表現とは何かを理解し、記述・発表できる。</li> <li>・ビジネス敬語を正しく使うことができる。</li> <li>・上記のような項目を学習し、日本語表現の応用力を学修する</li> </ul>						
日程と内容	第1回：講義概要＋導入問題の実践 第2回：敬語の種類と使い分け 1 第3回：敬語の種類と使い分け 2 第4回：注意すべき敬語 1 第5回：注意すべき敬語 2 第6回：ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉 1 第7回：ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉 2 第8回：文のねじれと係り受け・あいまい文 第9回：文の並び替え・要旨の取り方 第10回：動詞の自他・視点 1 第11回：動詞の自他・視点 2 第12回：文体、話し言葉・書き言葉 第13回：コロケーション 第14回：総合問題 1 第15回：総合問題 2とまとめ 定期試験						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計				
	演習	50%		100%			
授業到達目標の達成度	講義内での学生の反応、及び定期試験の結果から講義の目標は大筋で達成できたと考えている。						
反省点	本講義では、次年度のリテラシー科目受講を念頭に、敬語の用法や正しい日本語の文法の取得、語彙力の向上を目標とした。講義中に課した課題、定期試験の結果を踏まえると概ねその目標は達成できたが、特に敬語の分野で理解が不足している学生が散見された。また基礎固めを優先させた為、学生からの要望にあった学生自身に考え、表現を行う課題は不十分であったと思われる。前述の二点を本講義の課題としてあげ、次年度の改善点としたい。						
来年度の計画	基本的には今年度の内容に準拠する。						
授業評価アンケートに対するコメント	担当者の能力以上に、学生諸君が真摯に授業に取り組んだ結果ではないかと考える。						
履修登録者数	64名	定期試験受験者数	63名	合格者数	62名	合格率	98%